

Stage8

Atlantic Adventure

大西洋の冒険

作・マイケル・パーハム、アレックス・レーン

キャラクター・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。

・ページをパラパラめくって、写真を見ましょう。船の上での生活が、どんなものだと思うかお子さんにたずねてみてください。次のような質問をしてみましょう。

——長い旅に出る前に、考える必要のあることは何だと思いますか？

——船に乗る際に持っていく必要のあるものは何だと思いますか？

・Atlantic というキーワードや、この本に登場する他の場所の名前を確認しましょう。

自分のペースで読むように、お子さんに言ってあげてください。

<ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

Atlantic 大西洋の

ocean 大洋

cheeky なまいきな

materials 素材

Gibraltar ジブラルタル(スペインとモロッコとの間の海峡)

Antigua アンティグア

satellite 衛星

harbour 港

この本に登場する単語の中には、24 ページの用語集で説明されているものもあります。

この本をつくるにあたり、パーハム家の協力を得たことに感謝します。

[p. 1]

大西洋の冒険

目次

記録更新！ 2

帆走をおぼえる 4

なまいきなサル 6

マイケルの航路 8

出航準備 10

出発 12

風と波 14

海で見るべきもの 16

船上の生活 18

休息と気ばらし 20

冒険のおわり 22

用語集 24

作・マイケル・パーハム、アレックス・レーン
絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

記録更新！

2007年1月3日、マイケル・パーハムは世界記録を打ち立てました！

単独で大西洋を船で横断した最年少者となったのです。

マイケルはわずか14歳でした。

6週間以上もの旅でした。航海した距離は4700マイルにおよびました。

<なんて長い距離なんだ。>

北大西洋

南大西洋

スタート

ゴール

<うわあ！ とっても勇気があるのね！>

[p.3]

船の上のマイケル。

[p.4]

帆走をおぼえる

マイケルは6歳のときに船に乗りはじめました。乗り方はお父さんから教わりました。まずは小さなボートからはじめました。

マイケルとお父さんのピーター。

<見た目より大変なんだよ！>

こぎかたをおぼえるマイケル。お母さんが見守っています。

[p.5]

2003年、15歳の少年が、たったひとりで大西洋を船で横断しました。それは当時の世界記録でした。マイケルは、この記録を破りたかったのです。

マイケルは自身の大西洋旅行のために訓練を開始しました。1年以上にわたり訓練をして、何マイルも船に乗りました。

マイケルのデータ

生まれたのは？ 1992年3月16日

住んでいるのは？ イングランドのハートフォードシャー州

興味のあることは？

- ・水とセーリングに関係することなら何でも
- ・音楽
- ・ドラムをたたくこと
- ・スキー
- ・モトクロス

[p.6]

なまいきなサル

マイケルには長い旅をするためのよい船が必要でした。使用する船のタイプはTide 28とよばれるものでした。

マイケルはデザインするのに一役買いました。
自分の船に「なまいきなサル」という名前をつけました。
<あなただったら、自分の船になんていう名前をつける？>

[p.7]

「なまいきなサル」号は小型の、速い船でした。軽くて強い素材でできていたので、波の上にやすやすと浮きました。

マスト(帆柱)

帆

エンジン

安全レール

[p.8]

マイケルの航路

マイケルはジブラルタルから大西洋旅行をスタートしました。

まず、アフリカ沿岸を下っていきました。

それから、外海へ出ていきました。途中、2カ所で停泊しました。マイケルのお父さんは、マイケルがトラブルにあったときのために、別の船で近くを帆走しました。

<こんなに遠く離れたところを旅するなんて、信じられる？>

アメリカ

カリブ海

大西洋

ゴール: アンティグア

[p.9]

マイケルはアンティグアにゴールしました。4700海里以上におよぶ旅でした。

1海里は、海での1マイルです。

地上での1マイルよりも、すこし長くなります。

知識

1マイルは1.6キロメートル

1海里は1.8キロメートル

スペイン

アフリカ

スタート: ジブラルタル

停泊地1: ランザローテ

停泊地2: ケープベルデ

[p.10]

出航準備

海には真水がありません。マイケルは旅のあいだに必要な、十分な真水の準備をしなければなりませんでした。

<あなただったら、どんな食べ物がいちばんこいしくなるかな？>

マイケルは、大量の缶詰も持っていきました。マイケルがいちばん恋しかった料理は、熱いトーストとピザでした。

[p.11]

夜はとても寒くなることがあります。マイケルは暖かい洋服を用意しなければなりません。波がマイケルにかかることもありました。濡れないでいることは困難でした！

[p.12]

出発

準備に取りかかってから 1 年後、マイケルはついに航海に出ました。

旅のあいだ、マイケルはブログを書いています。

おかげで、他の人たちはマイケルの冒険をインターネットで読むことができました。

<みんなは、日記やブログを書いたことある？>

マイケルとお父さんが出発前の最終チェックをしています！

[p.13]

マイケルのブログから:2006 年 11 月 18 日

午後 1 時に出発。もうすこし早く出発する予定だったけど、いい風を待っていた。ぼくらはとても興奮している。お父さんはぼくのことをとても誇りに思っている！

「なまいきなサル」号の後部から見た大西洋。

[p.14]

風と波

ヨットが進むには風が必要です。風が帆をふくらませて、船を前へと進めます。風がないと、マイケルの船はあたりを漂うだけで、遠くへは行けません。

<風が穏やかだと、航海も穏やかです。>

[p.15]

また、あるときには、風が非常に強くなります。不意におそう突風はスコールと呼ばれます。強い風が吹くということは、大波がくるということです。なかには 7 メートルを超える波もありました。幸いなことに、マイケルは船酔いしません！

<強い風が吹くということは、サーフィンにうってつけの大きな波がくるということだな！>

[p.16]

海で見るべきもの

みなさんは、海では見るものなどないともないと思うかもしれませんが、でも、マイケルはたくさんものを見ました……

マイケルのブログから:2006 年 12 月 4 日

日が沈む前に、イルカたちがすばらしい光景を見せてくれた。イルカたちは少なくとも 2 時間は船と一っしょに泳いでいたんじゃないかな。空中にジャンプしたり、はしゃいでいた。波のてっぺんから特大のジャンプしたのも 1 匹いた。すごかったな。

<マイケルはこの写真を船の上から撮りました。>

イルカ

[p.17]

マイケルのブログから:2006 年 12 月 16 日

今日はまた別のトビウオがコクピット(操舵席)に飛び込んできた。お父さんは、ぼくたちが漂っていたときに、大きなサメがついてくるのを見たと言っていた。4 メートルくらいあったって！ おそろしい。

そいつがコックピットに飛び込んでこなくて、よかったよ。

[p.18]

船上の生活

マイケルとお父さんはおなじ航路を進んでいましたが、遠くはなればなれになることもよくありました。お父さんの船を3日間見なかったことも一度ありました！

ふたりは衛星電話や無線を使って連絡をとっていました。

「なまいきなサル」号の船室にある無線。

スピーカー

無線

海図

<人がおたがいに連絡を取り合ういろんな方法を思いつくかな？>

[p.19]

マイケルは船の上でさまざまなことをしなくてはなりませんでした。

やるべきこと

- ・船員
- ・航海士
- ・料理人
- ・掃除夫
- ・修理工

[p.20]

休息と気ばらし

自分ひとりで航海しているときに、夜、ぐっすりと眠るのはかんたんなことではありません。マイケルは毎回ほんの少しずつしか休むことができませんでした。気ばらしに、マイケルは音楽を聞いたり、本を読んだりしました。また、お父さんと無線でゲームをしたりしました。

[p.21]

マイケルは友だちがこいしかったと言いました。

ときどき、ちょっとさみしくなりました。

冒険がおわりに近づくにつれて、マイケルは残りの距離と時間を数えはじめました。おいしい食事と、揺れないベッドをまちどおしく思っていました！

<もし6週間も家から離れたら、何がいちばんこいしい？>

[p.22]

冒険のおわり

ついにアンティグアに到着したとき、マイケルはへとへとに疲れていましたが、幸せでいっぱいでした。マイケルは大歓迎を受けました。2000人もの人たちが、彼を出迎えてくれました！

マイケルのブログから:2007年1月3日

港に入っていくと、少なくとも50隻以上の小型船がぼくたちのあとについてきた。汽笛を鳴らして、ねぎらいの言葉をかけてくれていた。最高だった。大型船も汽笛を鳴らして、旗をかかげてくれていた。巣晴らしかったな。

[p.23]

いま、マイケルは船による世界一周の史上最年少者になりたいと思っています。目をはなさずにニュースで彼のことをチェックしたり、ブログを読んだりしててください。

マイケルのホームページはこちら：www.sailmike.com

<アンティグアにマイケル到着！>

<もしきみが世界記録を破るとしたら、何の記録かな？>

[p. 24]

用語集

blog オンラインの日記

cockpit 船の上の舵をとる場所

mast 船の帆をかかげる長い木の棒

motor 機械を動かすエンジン

sail 強く大きな布で、風が吹き込むと船を動かす

satellite 地球を回っていて、信号を送ってくる宇宙船

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・マイケルのことをどう思いましたか？ マイケルは何をしましたか？
- ・セーリングについて何を学びましたか？
- ・この本が気に入りましたか？ その理由は？

この話をまた読んでみるよう、お子さんにすすめましょう。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

- ・マイケルのホームページを見て、マイケルがしている最新の冒険について調べてみましょう？
(www.sailmike.com)
- ・ほかの世界記録について話しましょう。本やインターネットを使って調べてみたくなるかもしれません。